

D6

Translaion

Utility Model Application Publication No. S51-86376

Utility Model Application No. S50-002448

Date of filing: February 27, 1974

Title of the invention: Packaging of a solid article

Inventor: Tamotsu Miyamoto et al

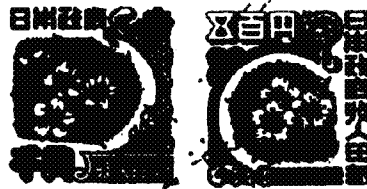
Applicant: Takeda Yakuhin Kogyo Kabushiki Kaisha

Partial translation

Claim

A packaging for a solid article comprising a formed sheet 1, a plurality of pockets 2 formed projecting on the surface of the sheet 1 each pocket housing an article 3 to be housed, a flexible film 4 for peeling off bonded on the rear surface of the formed sheet 1 for sealing the rear opening of the pockets 2, first cutting perforations 5 formed between the respective pockets 2 for enabling each unit divided pack a to be separated wherein the divided pack a is formed with second cutting perforations 9 surrounding the pocket 2 and extending over the formed sheet 1 and the peelable film 4, a portion 10 where the peelable film 4 is not bonded to the formed sheet 1 is formed in a part of the cutting perforations 9, so that the peelable film 4 can be peeled off from the formed sheet 1 through a peeling tab 11 of the peelable film 4 in the unbonded portion 10.

D6



(1,500円)

実用新案登録願 (2)

昭和49年12月27日

特許庁長官 殿



1. 考案の名称

コケイブツホウソクタイ
固形物包装体

2. 考案者

イタミアマンアザブジ キ
住所 兵庫県伊丹市天津字藤の木18-8

ミヤモト タモン
氏名 宮本 保 (ほか1名)

3. 実用新案登録出願人

住所 大阪府大阪市東区道修町2丁目27番地

名称 (293) 武田薬品工業株式会社

代表者 小西新兵衛

4. 代理人

住所 大阪市東区本町3丁目24番地 小原ビル

氏名 (6889) 弁理士 北谷寿

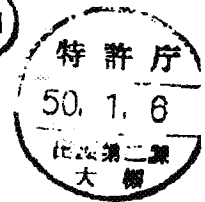
TEL (06) 245-3405



5. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 願書副本
- (4) 委任状

1通 式
1通 査
1通
1通



50-002448

86376

6. 前記以外の考案者、

住所 兵庫県川西市加茂1丁目10番24号
氏名 花谷真次

明 細 書

1. 考案の名称

固形物包装体

2. 実用新案登録請求の範囲

成形シート1の表面に多数突曲形成した各ポケット2に被包装物3を収容し、該成形シート1の裏面に粘性を有する剥離用フィルム4を接着してポケット2の裏面開口部を密封し、各ポケット2間に刻設した第1の切取用ミシン目5から単位 of 分包体a毎に切離し可能に構成するとともに、この分包体aにはポケット2の周囲に成形シート1と剥離用フィルム4に亘つて第2の切取用ミシン目9を刻設し、この切取用ミシン目9の一部に成形シート1と剥離用フィルム4との未接着部分10を設け、該未接着部分10における剥離用フィルム4の剥離用舌片部11を介して、成形シート1から剥離用フィルム4を剥離するように構成してなる固形物包装体。

3. 考案の詳細な説明

本考案は合成樹脂製の成型シートにポケットを

多数突曲形成し、該ポケット内に錠剤やカプセル等の固形物を密封包装するようにした固形物包装体の改良に関する。

一般に、この種の包装体は、成形シートのポケット開口部を破れ易いアルミ箔を使つてシールするものとなつてゐる。これによると、ポケットを外方から押し潰すだけで、錠剤等の被包装物はアルミ箔を突き破つて簡単に取出せるから大人には非常に便利である。が、反面、幼児でもアルミ箔を簡単に破ることができるから、幼児が被包装物を多量に取出してこれを口に入れる危険がある。

そこで、本考案はかかる危険性に鑑み、ポケットのシール部材を、上述のアルミ箔のような破れ易いものから容易に破れ難い靱性を有するフィルムに代えて、内部の被包装物の取出は一分包体毎に切離したりえて更に第2のミシン目に沿つて切取り、然かるのち靱性を有するフィルムを成形シートから剥離せざる限り取出せないようにした前記包装体を提供せんとするものである。これによれば、幼児が内部の被包装物を不測に取出すこと

はおよそ不可能であるが、并別ある大人にとつては手軽に取出せるものである。

以下に本考案の一実施例を図に基づき説明する。

1 はポリ塩化ビニール、ポリカーボネイトなどで成型した比較的硬質の板状の成形シートで、この成形シート1の表面には容易に押し潰せない肉厚を有するポケット2を多数突曲並設してある。

この各ポケット2内に凝固剤、カプセル剤のような被包装物3を収容したのち、成形シート1の裏面にポリエチレン、ポリエステルなどの材料をベースにした親性を有する剥離用フィルム4を剥離可能に接着して、前記ポケット2の裏面開口部を密封着してある。

各ポケット2間には、成形シート1と剥離用フィルム4に亘つて切取用ミシン目5を縦横に刻設し、単位のパッケージ毎に分離可能となつてゐる。

ここに縦横に走らせたミシン目5・5の交叉部分6は、⁷ハール状に角落としするとともに、ミシン目5と包装体との交叉部分7及び包装体の四隅8も同じくハール状に角落とし、切離した単位の



分包体aの四隅を尖鋭な角部分のないアールとなるようにして、分包体aの角で傷つくことがないようにしてある。

更に、各分包体aにはポケット2の周面に成形シート1と剥離用フィルム4に亘つて第2の切取用ミシン目9を刻設するとともに、この切取用ミシン目9の一部に成形シート1と剥離用フィルム4との未接層部分10を設け、この未接層部分10において該剥離用フィルム4に剥離用舌片部11を形成すべく構成する。ここに第2のミシン目9は、第1図に示す如く、ポケット2を2段5列に並設せる包装体にあつては、各ポケット2の左右両側を縦に走らせると共に、上下ポケット2・2の上下端部に幅広に形成した未接層部分10の略中間部を横に走らせたものである。

次にその使用要領を説明すると、幼児などがこの包装体をもて遊んで、ポケット2を外方から押しても、ポケット2は容易に潰れず、仮にポケット2が潰れたとしても、ポケット2の裏面開口部には破れ難い紐性の剥離用フィルム4で密封着さ

れているので、ポケット 2 内の被包装物 3 を取出すのは幼児の知恵と力とでは不可能である。

被包装物 3 を取出すには、まず第 1 段階として、縦横の切取用ミシン目 5 に沿つて第 3 図に示す如く、一分包体 2 に切り離す。次いで第 2 段階として第 2 の切取用ミシン目 9 に沿つて第 5 図に示す如くに切断する。これにより分包体 2 の一端縁部には、第 6 図に示す如く、成形シート 1 と剥離用フィルム 4 との未接着の部分 10 が露出する。そこで第 3 段階として、この未接着部分 10 に生じた剥離用フィルム 4 の舌片部 11 を摘み、これを第 7 図に示す如く成形シート 1 から剥離することにより、被包装物 3 の取出しを行なうことになる。

このように、被包装物 3 の取出しには三段階の操作を要するが、第 1・第 2 段階はいづれも第 1 及び第 2 のミシン目 5・9 に沿つて切断するだけであり、第 3 段階はフィルム 4 の舌片部 11 を摘んで成形シート 1 から剥離するだけであるから、これらの一連の操作を弁別できる大人にとつては、被包装物 3 の取出しが極めて容易に行えるものと

なつてゐる。

以上説明したように、本考案によれば、成形シートのポケット開口部は破れ難い靱性の刺離用フィルムで密封着しているから、在来の包装体のように、幼児によつても簡単に破封されるようなことがなく、幼児の誤飲事故を有効に防止し得る。

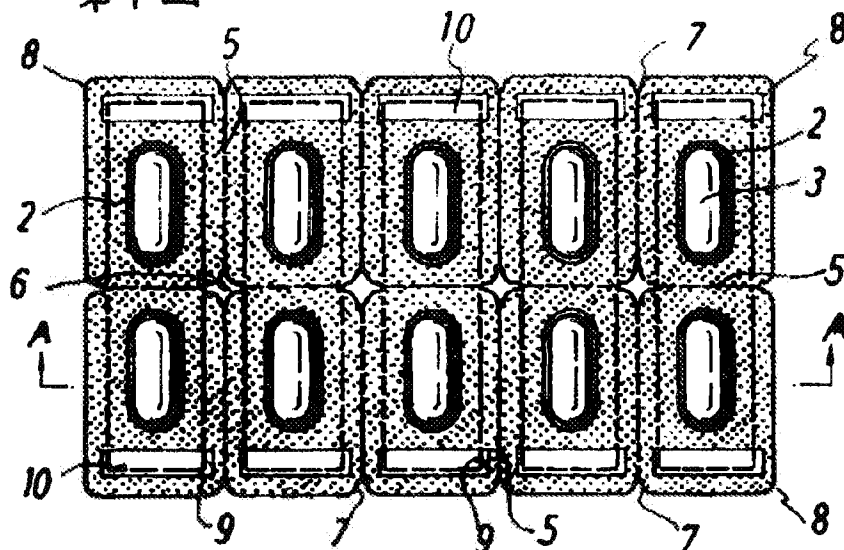
一方、弁別ある大人には簡単に被包装物を取出すことのできる至便な包装体である。

4. 図面の簡単な説明

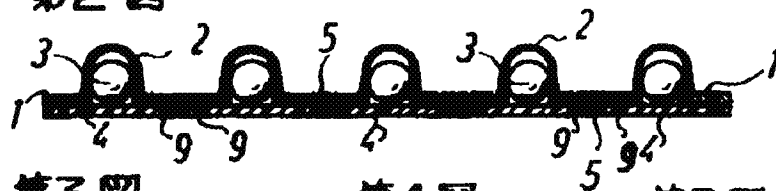
図面は本考案の一実施例を示し、第1図は平面図、第2図は第1図のA—A線断面図、第3図は1分包体に切取つた平面図、第4図は第3図のB—B線断面図、第5図は第3図のミシン目9から切取つた平面図、第6図は第5図の断面図、第7図は被包装物の取出し状態を示す断面図である。

1…成形シート、2…ポケット、3…被包装物、4…刺離用フィルム、5…第1の切取用ミシン目、9…第2の切取用ミシン目、10…未接着部分、11…4の刺離用舌片部、a…単位のパッケージ。

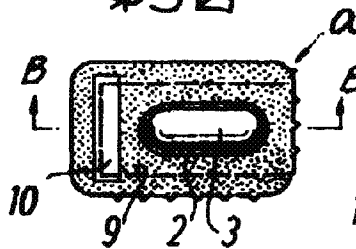
第1圖



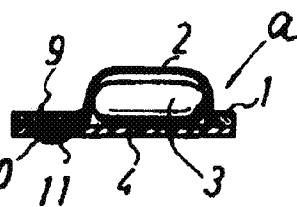
第2圖



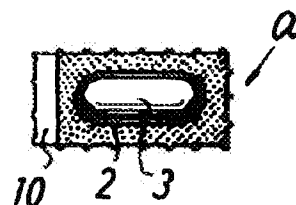
第3圖



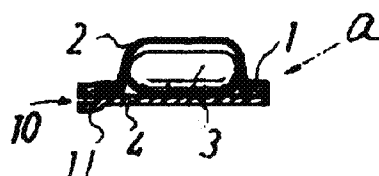
第4圖



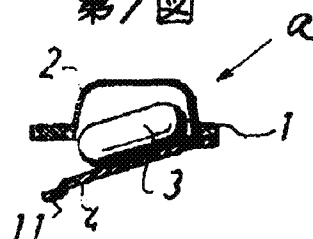
第5圖



第6圖



第7圖



86376

代理人 北谷壽一